事業完了報告書

提出日：　2023 年　4 月　28 日

1．事業概要

（1）資金分配団体名：公益財団法人パブリックリソース財団
（2）事業名：　子ども支援団体の組織基盤強化
（3）事業実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月
（4）実行団体名：ちゅらゆい、発達わんぱく会、ブリッジフォースマイル、無限

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス委員会を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 実施者：当法人監事 2 名 実施時期：2023 年 5 月予定
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☑ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	成果報告会開催に伴う HP 掲載、プレスリリース発信、他媒体での発信
広報制作物等	有	成果報告会案内チラシ
報告書等	有	成果レポート、2/22 成果報告会開催（会場＆配信）

5. 実行団体への事業完了時監査

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

実行団体への事業完了時監査は実施しましたか。
☐ 実施済み ／ ☑ 実施予定（完了予定時期： 2023 年 5 月）
→上記で「実施済み」を選択した場合、どのような評価できる点や課題があったか、その他気づいた点などを記載してください。

6. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

・本事業において、組織基盤強化の成果を出すための知見や教訓について下記の様にまとめた。

1、組織内で組織基盤強化の取り組みの重要度を上げることが必須である。そのための資金確保が必要である

2、組織基盤強化に取り組むには、外部（第三者）の協力が不可欠である

3、定期的な振り返りの機会が有効である（継続審査、集合研修、評価のためのワークショップ等）

4、実行団体同士の交流（ピアラーニング）の機会が貴重である

・「子ども分野の NPO の組織基盤が脆弱なために、支援対象者である子どもの多様なニーズに応えら

れていない」「子ども分野の NPO の「リーダー(＝トップランナー)」を増やすには組織基盤強化が必要」という課題設定は的確で社会的要請の大きいものだった。伴走支援による「3 年間の組織基盤強化」という事業設計も適切で、NPO のニーズに即していた。

・PO 3 名を配置することで、本事業の活動を効果的に実施することができた。各実行団体が外部コンサルタントに業務委託を行って進めた組織基盤強化について、必要に応じて補完しながら支援を展開することができた。例えば、企業を顧客とする(ブランディング、ファンドレイジング、組織開発、人材育成などを行う)専門コンサルタントで、NPO の実態に即した支援ができるコンサルタントは少ない。そこで PO はこうした専門コンサルタントの発掘、実行団体のニーズや相性もみながらのマッチングを行った。また、毎月の資金分配団体・実行団体間の定例会、ピアラーニングを意識した実行団体対象の集合研修は、組織基盤強化のアウトプット、アウトカムの発現に効果的だった。

・課題は、新型コロナの影響で、本事業の計画が遅れ、アウトカムの発現に負の影響があったことだ。各実行団体の主要事業が大きな影響を受けると共に、資金分配団体 PO の現地訪問が困難になる等、本事業に影響を及ぼした。また新型コロナがなければ、状況に応じて対面で同世代の実行団体リーダーを集めたピアラーニングを毎年行うことができ、さらなる変化が実現していたかもしれず悔やまれる。

・実行団体からは、同じプログラムで次に組織基盤強化に取り組む団体があれば、「卒業生」としていっしょに集まりたい、といった希望が出された。また組織基盤強化はプログラム助成とは異なり、最終受益者である子どもの変化が見られるまでにタイムラグがあり、さらなる組織の飛躍は 5 年後、10 年後になることが予想されるため、長期スパンで見守っていきたいと考えている。必要であれば追跡調査も実施したいので支援があるとありがたい。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

・2022 年 9 月 16 日「子ども支援団体の組織基盤強化」実行団体意見交換会
プレゼンやワークショップ等を通じてお互いの事業を理解し、課題を共有することで、効果的なピアラーニングの場となった。一般社団法人無限が運営する施設（奈良県生駒市）で、実行団体 4 団体、資金分配団体、JANPIA 担当者とともに交流会を実施した時の様子。

・2023 年 2 月 22 日開催、「子ども支援団体による成果報告会」
組織基盤強化に取り組んだ 4 団体が 3 年間を振り返り、互いの成果や課題を分かち合うことで、今後の継続的な組織基盤強化に役立ていただくとともに、成果を生んだポイントとはなんだったのかを深めていく会となった。

・2022 年 10 月、NPO 法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆいによる研修会
リーダー層を中心とした研修会開催時の様子。資金分配団体のファシリテーションにより、社内のみで話し合うよりもより広い視野でスタッフの言葉が引き出される場面が多く見られた。全体での会議で集められた言葉の整理が行われ、ビジョン・ミッションの見直しや中長期計画などの「これから向かう先」を方向付ける上で指標となるような言葉が整理された。

・2022 年 2 月、一般社団法人無限による 3 年間の実践発表会
3 年間の自己組織化の実践内容を、地域や他の福祉事業所に提供する目的で開催。当日参加、配信希望を合わせると予想を超える 50 名以上の申し込みがあり、社会における自己組織化組織（ティール型組織）への関心の高さが窺えた。

・2022 年 12 月、認定 NPO 法人発達わんぱく会プロジェクトミーティング
2023 年 1 月に予定されていた事後評価打合せを念頭に、団体代表とプロジェクトメンバー、業務コンサルタント、資金分配団体に加え、評価コンサルタントも交えて、プロジェクト全体の振り返りを行った。

・2022 年 1 月、認定 NPO 法人ブリッジフォースマイルによる事業振り返りワークショップ研修
団体代表とプロジェクトメンバーが一同に集まり、WEB リニューアルの成果について、3 年間の取り組みについての発表とともに、資金分配団体のファシリテーションで組織基盤強化事業の取り組みを振り返るワークショップを行った際の様子。